

平成27年度 町総合防災訓練を実施しました



訓練の想定

8月30日(日)午前8時、糸魚川―静岡構造線を震源とした内陸直下型地震が発生し、富士見町で震度6強を観測した。この地震により、広範囲で家屋の倒壊等による多くの負傷者が発生し、人的被害のほか、ライフライン等の被害も発生した。通信網は不明を想定する。

訓練の概要

地震調査研究推進本部から糸魚川―静岡構造線活断層の評価が改正され、震度7の範囲が西山方面に集中していることを受け、今までにない被害を想定し、如何に町民の安全を確保できるか、そのためにどういった情報をどのように伝えられるか、本番を見据えて「情報伝達訓練」を実施しました。

また全町民を対象に各自自主防災会および区未加入者の安否確認訓練、町医師会および医療救護本部(富士見高原病院)と連携したトリアージ訓練、救護所と医療救護本部との負傷者搬送訓練、第2次避難所及び救護所の設置訓練を実施しました。

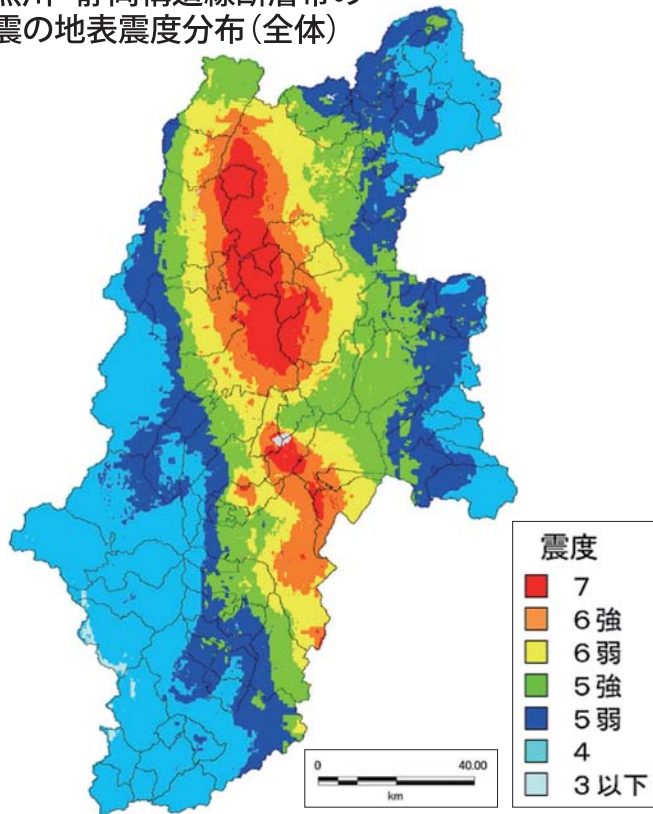
災害対策本部では本部長(町長)のもと、被災した情報を分析し、活動方針を瞬時に決めていく「意志決定訓練」を行いました。

訓練の結果

被害想定(別紙1)を踏まえ、本部長より人命救助を最優先に、消防団長に消防団員の出動要請、諏訪広域消防救助隊に派遣要請。被害が拡大する恐れがあることから「避難指示の発令」、災害規模の情報収集のために職員の現地確認指示。富士見高原病院へ医療救護本部の設置と傷病者の受入依頼。救護所、第2次避難所、福祉避難所の開設指示。建設事業協同組合、水道事業協同組合に災害復旧依頼。茅野警察署に盗難防止等警戒依頼等、関係機関へ要請・指示があり、その結果を全て災害対策本部へ報告させました。

また災害救助法や自衛隊の派遣要件に該当するか、災害の規模、被災状況等を照らし合わせ、本部長より県に要請するといったシミュレーションも行いました。

糸魚川-静岡構造線断層帯の地震の地表震度分布(全体)



訓練の被害想定(抜粋)

(別紙1)

- 8:15 ・白樺団地西側の土手が地震により崩れ落ちた。十数件の家屋が土砂に埋まり、負傷者及び行方不明者が多数。負傷者の中には小さい子供もいる。今も土砂が崩れてきている。
- 8:30 ・「木の間区西山環状線JA精米所付近で地震により土砂が崩れ武智川をせき止めている。」「前日から降った大量の雨により、武智川の警戒水位2.5mを超えている。」
- 8:40 ・白樺団地の富士見太郎さん宅が倒壊し家族が住居に取り残されている。家族4人の生存を確認。隣も住宅が倒壊している。全壊10戸、半壊15戸。
- 8:50 ・花場区内に入る花場橋が地震により崩壊し、通行不可。区内においても家屋が全壊10戸、半壊10戸。救助要請あり。
- 8:55 ・千鹿頭神社付近で土砂崩落有。片側一車線通行可。横吹区内全壊10戸、半壊10戸。
・木の間区長より、地震による家屋の倒壊全壊12戸、半壊15戸。
- 9:00 ・若宮区長より八幡社付近で道路が陥没し、大量の水が溢れている。
・パノラマリゾート山頂駅付近にも多くの観光客がいて負傷者もいる。入笠林道は数か所土砂崩落により通行不可。

家庭での停電対策

今年の8月6日に発生した雷による停電は、富士見町に限らず、広い範囲に影響をもたらしました。普段当たり前のように使っている電気が長時間停電となると不安や対応に苦慮されたことと思います。

【停電対策】

- ・懐中電灯は身近に置いておく(身の安全を確保する)。
- ・携帯ラジオで情報を得る。家に無い場合は車で確認。
- ・近所の状況を確認する。
- ・原因や停電の復旧状況を確認する。

中部電力：0120-984-540

長時間の停電の場合は集落センター等(第1次避難所)に集まるといったことも一案だと思えます。

糸魚川-静岡構造線活断層

今年4月に糸魚川-静岡構造線活断層の評価が改正された。改正点は今まで30年以内の地震の発生確率が断層帯全体150kmで14%だったものが、北部・中北部・中南部・南部の4つの区間に再分割され、それぞれの区間ごとに断層帯の長さ、地震の規模、発生確率が再計算されました。富士見町は、中南部に位置しています。

[中南部(諏訪湖北方-下葛木 区間)]

- 地震の規模 : M7.4程度
- 断層帯の長さ : 33km程度
- 地震発生確率 : 30年以内 1~8%
- 地震後経過率 : 0.6-1.0
- 平均活動間隔 : 1300年-1500年程度
- 最新活動時期 : 約1300年前以降
約900年前以前

長野県地震被害想定調査報告書(H27.3)

最大被害想定

- 建物被害(棟) [冬18時、強風時]
 - 揺れ : 全壊1690戸 半壊2730戸
 - 土砂災害 : 全壊40戸 半壊120戸
 - 火災 : 全壊焼失170戸
- 全壊合計 1900戸 半壊合計 2850戸
- 人的被害(人) [夏12時、強風時]
 - 死亡数建物倒壊 : 210人
 - 負傷者 : 650人 内重傷者数 : 370人

避難指示・勧告、通行止め箇所、被害状況等の情報は指示の内容により、防災行政無線屋外拡声器や告知放送(有線)、緊急防災メール、ホームページ、LCVTVのデータ放送(行政メール)にて情報発信をいたしました。平成26年2月の豪雪災害の教訓として如何に町民に対し正しい情報を素早く出すことができるか。今回の訓練で実証することができました。町民の皆さんにはこれを機に緊急メールの登録をお願いします。また、携帯電話をお持ちでない方で地デジ対応テレビ(薄型テレビ)LCVキーボードレビに加入されている方はデータボタンから行政メール、富士見町で同様の情報を見ることもできますのでご確認ください。

富士見町緊急メール登録方法

- 1.迷惑メール対策をしている場合は、【[mail@admj.biz](mailto:admj.biz)】アドレスを受信できるように設定してください。
- 2.スマホ・ケータイのバーコードリーダーで右側のQRコードを読み取ってください。



バーコードリーダーがない機種は、下記アドレスを直接入力してください。

<http://admj.biz/subscriber/?storeld=146>